

令和 5 年度 学校運営協議会評価報告書 1

鳥取県立八頭高等学校
校長 岡田 優

評 価 日	令和 5 年 7 月 1 2 日 (水)
評価・提言	学校の所見・改善策
1 目標設定について ○特記事項なし。 2 評価項目と目標達成のための取組について ○部活動も頑張りたい生徒も多い。我が子は軟式野球部所属であったが、土日は学校外の球場で練習だった。硬式野球場が空いていれば使用できないか。 ○業務改善と関連するが、人員配置はどうか。 ・小学校も厳しい状況である。 ・少人数学級の加配もなくなり、産休・育休代員も不足。標準法を変えないと無理と思料。 ・業務改善と手厚い指導とは矛盾を生む。生徒も多様化しており、個別指導に注力することは間違っていない。 ・以前は教員もフルタイム勤務が当たり前。働き方も変化しており、苦慮されていると思料。 ○ミックスクラスの授業は、どのように行われているのか。また、同じ科目であっても単位数は異なるのか。 3 具体目標について ○特記事項なし。 4 目標達成のための具体方策について ○特記事項なし 5 その他 ○県立高等学校教育に関する基本方針案（R 8～1 7 年度）を踏まえた今後の八頭高の在り方について ・現在の規模で残って欲しい。 ・中学生は高校による進路説明会をととても参考にしている。いかにアピールするかが重要。 ・中学生体験入学による授業体験は効果的。ウェイトトレーニング体験や解剖等を設定したり、八頭高ライフ体験の内容を検討したりしてはどうか。 ・類型編成の目的を本日初めて知ることができた。普段の我が子との会話では理解できない。他の保護者もそうではないか。SNS等による情報発信を積極的に行うことで、広く理解されるのではないか。 ・部活動を頑張る生徒も多いが、部活動に所属していない生徒も存在している。そのような生徒にとって、現在の学校案内では魅力不足ではないか。	→調整すれば可能だと思う。 →講師 4 人の配置はありがたいが、養護教諭の 1 減に苦慮。組織編成について工夫してきたが、更に工夫をしたい。 →共通科目は単独クラスで実施しているが、選択科目は選択教室でそれぞれ実施。 →6 類型あり、選択科目も多く、時間割編成に大変苦慮しているため、単位数を揃えざるを得ない状況。 →引き続き、校内の在り方委員会でも検討していきたい。 →情報発信については、インスタグラムの開設を検討している。